

マーブリング 平版

水も写せる!

□主に扱う学年・時数

3～4年 2時間

□はんがの特徴

- 水の上に油性の絵の具をたらし、それを和紙などで吸い取る技法
- 1回1回絵が違うので1枚しかできない
- いろいろな色の組み合わせで手軽に楽しい表現ができる版画
- 中学校で発展的にデザインの技法として扱う



□準備する材料・用具

- ①水を貯めるバットなどの容器
 - ②写しとる紙 絵の具を吸いやすい和紙、画用紙
 - ③墨汁、油性絵の具、市販のマーブリング用えのぐ
 - ④油性絵の具を溶く油（灯油、テレピン油など） ⑤油性絵の具を練るパレットなど
 - ⑥油絵用筆 ⑦割り箸 ⑧はさみ ⑨のり ⑩新聞紙
- ※④⑤⑥市販のマーブリング用絵の具には不要

□授業のながれ

授業のながれ(子どもの活動)

教師の準備・支援・ワンポイントアドバイス

- ①画用紙が入る程度の容器（バットなど）に水を入れる



- ②水の上に油絵の具や墨汁をたらし、好きな模様をつくる

- ・揺らさないように静かに割り箸などでまぜる

- ・作品置き場に新聞紙を広げておく

- ①教師がやってみて興味をもたせよう

- ②水が動かなくなったら絵の具をたらす



③刷り紙に写そう

- ・刷り紙を静かにのせて写そう
- ！刷り紙に空気が入らないように

④さあ もうできあがり！

⑤作品を平らな板などの上に丁寧にのばして
保管する

⑥友達を手伝おう

<発展>

⑦作っておいたマーブリングをみてイメージ
を広げる

- ・この部分は波に見える
- ・この部分は地図みたい

⑧自分のイメージで紙を切る

⑨色画用紙などに貼ったり、絵を加えて完成

③刷る紙はそっとのせる

- ・空気が入らないよう刷り紙の両端を少し外側に丸めて水の上のにせる

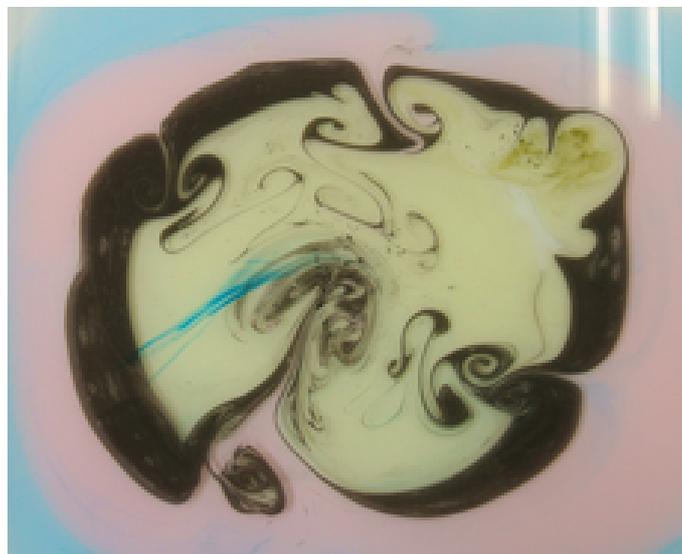
④慎重に刷り紙を水からあげよう

⑤しわがよったり折れたりしないように

- ・しわがよらないようにするためビニール板やガラスに貼り付けてかわかすとよい

⑦マーブリングからイメージ

- ・空気のイメージ
環境汚染を訴えるポスター
- ・海のイメージ
お話の絵



ふしぎなもよう